

診療終了後 (給水管路洗浄)

1. フラッシング装置の取付

- ① チェア-の電源をONにし、チェア-を最下位・最起立させバキュームシリンジを引出し、吸引していることを確認してから電源をOFFにします。
- ② 給水・エア-の元バルブを開きます。
- ③ フラッシング装置をベースンのコップ給水口に合わせて取付けます。



- ④ バキュームシリンジからチップを引抜き装置の『EV』に、
- ⑤ エア-タービンを引出しノドピースを外してからメインチューブを装置の『HS』に、
- ⑥ トリックスを引出しノドピースを外してからトリックスを装置の『LS』に、
- ⑦ スケーラーのノドピースを外してからチューブを装置の『SC』にそれぞれ差込み
- ⑧ サライバジェクターのチップを外してからチューブを装置の『SE』に取付けます。



- ⑨ スリーウェイシリンジを引出してからノズルを取外します。シリンジを装置の『WS』に差込みシリンジのWレバーを装置のレバー押さえで固定します。

※ご使用の全てのインストゥルメントがセットされていないと装置は作動しません。

2. 洗浄液の準備

- ① チェア-の電源がOFFになっていることを確認します。
- ② 給水管路クリーンシステムのカバーを開けます。
- ③ ボトル液スイッチが『OFF』側になっていること及び、圧力計が0 MPaになっていることを確認します。



- ④ ボトル上部のエア-用(白)のチューブを外します。  
1. エア-用は接手リングを引き  
2. チューブを引き抜き、  
3. ボトルを手前に引き出します。



- ⑤ キャップを外して、残っている洗浄液を捨てます。



- ⑥ 給水管路洗浄液(ワープルC)をビーカーで25ml量り、ボトルに入れます。



- ⑦ 水道水をボトルのガイド線(750ml)まで入れて希釈します。(濃度1000ppm)

- ⑧ キャップをボトルに取付けます。

- ⑨ 1. ボトルの突起を切欠きに合わせて押込みます。  
2. パネルの『水バルブ』を閉じます。  
3. 4. パネルの水道水用接手のリングを押し込み 水用(青)のチューブを引抜き、  
5. ボトル上部の水用接手に接続します。  
6. エア-用チューブも元通りに接続します。



診療前 (洗浄液排出)

給水管路内の洗浄液排出

※給水管路内に滞留している洗浄液を水道水で洗い流します。フラッシング装置にチューブがセットされたままになっている場合は、5. 7. の項目は行う必要がありません。

1. チェア-の電源がOFFになっていることを確認し、給水管路クリーンシステムのカバーを開けます。
2. ボトル液スイッチが『OFF』側になっていることを確認します。
3. ボトルキャップの水用チューブを外し、パネルの『水道水接手』に差し込みます。
4. 『水バルブ』を閉じます。
5. チェア-の電源をONにし、チェア-を最下位・最起立させバキュームシリンジを引出し、吸引していることを確認してから電源をOFFにします。
6. 給水・エア-の元バルブを開きます。



7. 上段の「2. フラッシング装置の取付」の項目と同様に、フラッシング装置をベースンのコップ給水口に合せて取付け、各インストゥルメントをフラッシング装置にセットします。

8. チェア-の電源をONにします。

9. 切替ランプが遅い点滅になっていること、CHECKランプ及びLS回転切替の4つのランプが点灯しているのを確認します。

10. SEスイッチをONにして『洗浄液排出』スイッチを押し、洗浄液の排出を開始します。

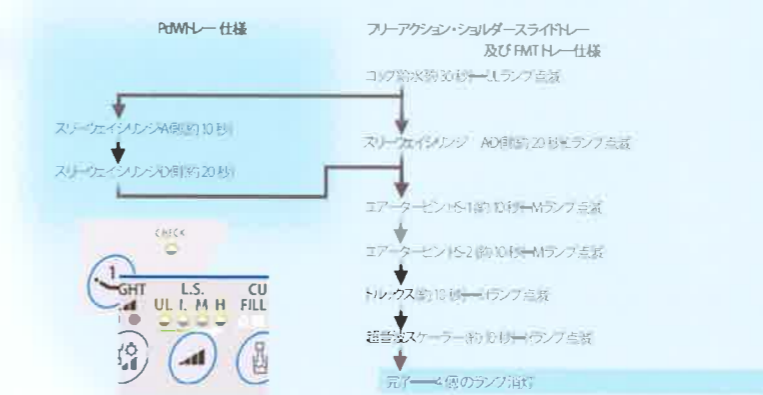


3. 給水管路の洗浄

- ① 操作パネルのボトル液スイッチを『ON』にします。
- ② 圧力計が0.18~0.20MPaになっていることを確認します。
- ③ 『水バルブ』が閉になっているのを確認します。
- ④ チェア-の電源をONにします。
- ⑤ 切替ランプが遅い点滅になっていること、CHECKランプ及びLS回転速度切替のランプが4つ点灯しているのを確認します。
- ⑥ 給水管路洗浄スイッチを押し、管路洗浄を開始します。
- ⑦ 管路洗浄中コップ給水各メインチューブからフラッシング装置内に排水されているか、またボトル内の洗浄液が徐々に減っていくかを確認してください。



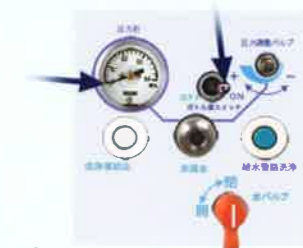
管路洗浄中はCHECKランプが点滅し、LS回転切替ランプが以下のように点滅します。



- ⑧ 完了するとCHECKランプが消灯、チェア-の電源ランプが点滅します。

4. 洗浄液の滞留

- ① 管路洗浄後は、ボトル液スイッチを『OFF』にし、圧力計が0 MPaになっていることを確認します。
- ② ボトルに残った洗浄液を捨てます。
- ③ チェア-の電源をOFFにし、給水・エア-の元バルブを閉じます。

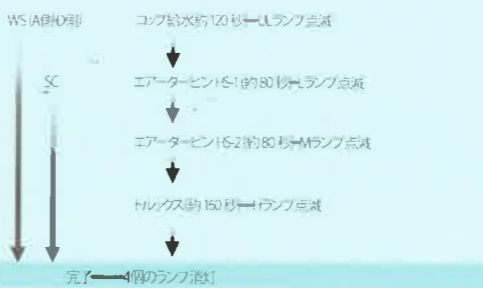


※ 診療開始する前まで、各管路に洗浄液が滞留したままにしておきます。

警告

・当社指定の給水管路洗浄液「ワープルC」以外は使用しないでください。他の洗浄液や薬品を使用すると患者さんの健康に危害を与えるおそれがあります。又給水管路が故障する原因となります。洗浄液の希釈割合を必ず守ってください。(給水管路洗浄液25mlに対し、水道水をボトルのガイド線まで(750ml)入れてください。)

11. 洗浄液排出中は、コップ給水・各メインチューブからフラッシング装置内に排水されていることを確認してください。
12. 完了すると切替ランプが点灯、CHECKランプが消灯、チェア-の電源ランプが点滅します。



13. シリンジ・チューブを装置から取り出し、フラッシング装置をベースンから外します。

警告

・給水管路内に洗浄液が入っている状態では、絶対に治療しないでください。  
・診療開始前に下記3項目を必ず確認してください。  
① 水用チューブ(青)が操作パネルの『水道水接手』に接続され、『水バルブ』が閉になっていること。  
② 『洗浄液排出』スイッチを押し、洗浄液を排出したこと。  
③ 『切替ランプ』が連続点灯していること。